

The 705th Subscription Concert of 第705回定期演奏会 the City of Kyoto Symphony Orchestra

フランスの俊英デュムソーを迎えて
人気のサクソフォン奏者
上野耕平が京響定期へ初登場!

2025. 10.11日
Sat, October 11, 2025 / 2:30PM

開演 午後2時30分
(午後1時30分開場)

Kyoto Concert Hall

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」下車
出口1・3番から南へ徒歩約5分

ピエルネ:「ラムンチョ」序曲

トマジ: バラード

—サクソフォンと管弦楽のための★

ショスタコーヴィチ: 交響曲 第10番
ホ短調 op.93

Piërné: Ramuntcho, incidental music – Overture
Tomasi: Ballade pour saxophone et orchestre★
Shostakovich: Symphony No.10 in E minor op.93

京都市交響楽団

サクソフォン:
上野 耕平★
Saxophone:
Kohei Ueno
©Yuji Ueno

指揮:
ピエール・デュムソー
Conductor: Pierre Dumoussaud
©Edouard Brane

開演前は指揮者による
「プレトーク」で
お楽しみください。

午後2時頃から

「プレトーク」は
ホール・ステージ上
にて開催します。

©京都市交響楽団

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

入場料 2025.8.29 金 から発売

●6,000円 ●5,500円 ●4,500円 ●3,500円 ●3,000円 (舞台後方席)

U30 前売 [一般発売に併せて販売] ●2,500円 ●2,000円 ●1,500円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご入場の際に年齢の確認ができる証明書のご提示をお願いする場合がございますので必ずご持参ください。※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> で販売 (チケットカウンター、チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。

U30 当日 [当日残席がある場合のみ発売] ●2,500円 ●2,000円 ●1,500円 ●1,000円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる証明書のご提示が必要となります。※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べませんが、座席指定はできません。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2025年10月3日までに京響 075-222-0347へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
- ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱い(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。

チケット
ご予約

- 京都コンサートホール 075-711-3231 ●ロームシアター京都 075-746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード 280-853
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード 52755

お問い
合わせ

京都市交響楽団 075-222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →
京都コンサートホール 075-711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



主催: 京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
協力: 株式会社ドルチェ楽器 後援: (株)エフエム京都

協賛: ローム株式会社、介護付有料老人ホーム 京都ヴィラ

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

ROHM
SEMICONDUCTOR

The 705th Subscription Concert of 第705回定期演奏会 the City of Kyoto Symphony Orchestra

フランスでオペラを起点に活躍の場を拡げ、着実に評価を高めているピエール・デュムソーが登場。前半はビエルネとトマジ2人の作曲家によるフランス音楽を取り上げます。ビエルネはマスネに師事し、「ラムンチョ」は同名の小説を舞台化する際に劇付随音楽として作曲されました。スペインのバスク地方の民俗的要素が特徴の曲です。トマジのバラードには、ジャンルの垣根を越えた活動で人気を集める上野耕平が登場。メランコリックな旋律と華やかな技巧の両面をたっぷりとお楽しみください。

後半は没後50年にあたるショスタコーヴィチの交響曲第10番。これまで京響では演奏機会はあまりありませんでしたが、彼の交響曲の中で評価と人気とともに高い作品です。才能あふれるデュムソーが京響からどんな表現やサウンドを引き出すのかご注目ください。

指揮

ピエール・デュムソー

Conductor: Pierre Dumoussaud



©Edouard Brane

2017年、国際オペラ指揮者コンクールでの受賞を機にオペラ界へ頭角を現したピエール・デュムソーは、フランスのクラシック音楽大賞「ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック」で2022年に新設された「指揮者新人賞」の初の受賞者に輝いた。同年、フランス文化大臣から芸術文化勲章のシュヴァリエを受章。ヨーロッパの歌劇場で目覚ましい活躍を続け、その熱意と綿密さでフランス国内はもとより国外でも成功を収めている。19世紀と20世紀のフランス音楽を愛する彼のディスコグラフィには、オフエンバックの『月世界旅行』初の全曲版等があるほか、フランスの作曲家オリヴィエ・グレフ(1950-2000)の作品を取り上げたアルバムは「ディアパゾン・ドール」賞及びクラシカ誌「ショック」賞を受賞。交響曲のレパートリーに情熱を注ぐファゴット奏者であるデュムソーは、2014年までパリ国立高等音楽院でオーケストラ指揮を学び、その年にADAMI(フランス音楽著作権協会)「才能ある指揮者」コンクール第1位を受賞。翌年25歳の時、急遽アラン・ロンパールの代役としてボルドー・アカデミア国立管を指揮。2014-2016年まで副指揮者を務めたこの楽団とは、その後も数多くのオペラを指揮して特別な関係を保っている。以降、国際的な活躍をスタートし、ヘルリン・フィル・カラヤン・アカデミー、カリシア王立フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、ローザンヌ室内管等に客演。フランス国内では、フランス放送フィル、トゥールーズ・キャピトル国立管、リール国立管、メス国立管、イル・ド・フランス国立管等を指揮。2021年5月にはパリ国立オペラにデビュー、2023年にも再び招かれた。2024-2025シーズンは、ラン国立歌劇場の『ホフマン物語』とディジョン歌劇場の『真珠採り』という2つの新作へデビューのほか、紀尾井ホール室内管にも初登場。また、オペラ・パステューに『マノン』で再登場し、サントル＝ヴァル・ドゥ・ロワール響とノルマンディ・ルーアン歌劇場管にも客演。2026-2027シーズンからはノルマンディ・ルーアン歌劇場管の音楽監督に就任することが決定している。

サクソフォン

上野 耕平

Saxophone: Kohei Ueno



©Yuji Ueno

茨城県東海村出身。8歳から吹奏楽部でサクソフォンを始め、東京藝術大学器楽科を卒業。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門において、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。2014年第6回アドルフ・サックス国際コンクールにおいて、第2位を受賞。現地メディアを通じて日本でもそのニュースが話題になる。また、スコットランドにて行われた第16回世界サクソフォンコンGRESSでは、ソリストとして出場し、世界の御所たちから大喝采を浴びた。指揮者山田和樹氏には「耕平は、1音を聴いただけで、ただ者ではないと思った!」、ボストンポップスオーケストラの音楽監督であり指揮者であるKeith Lockhartには「サクソフォンのこんな音聴いた事がない。目が飛び出るほど驚いた!」と言わしめた。デビュー以来、常に新たなプログラムにも挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。2017年度第28回出光音楽賞受賞。2018年第9回岩谷時子賞 奨励賞受賞。現在、国内若手アーティストの中でもトップの位置をしめ、ソリストとしてNHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団他、国内のほとんどのオーケストラと共演。並行してサクソフォン四重奏「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽団「ばんだウインドオーケストラ」としても精力的に活動し、クラシックと吹奏楽を両軸に、上野耕平ワールドを築き上げてきた。また、テレビ「題名のない音楽会」「妄想トレイン」への出演、NHK-FM「×(かける)クラシック」の司会などメディアとの相性も良い。音楽以外にも鉄道と車をこよなく愛し、深く追求し続けている。CDデビューは2014年「アドルフに告ぐ」。そして、2015年には「ばんだウインドオーケストラ」、2017年には「The Rev Saxophone Quartet」としてもCDをリリース。2025年4月16日に6枚目のソロアルバム『eclogue』をリリース。 <https://uenokohei.com>

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会等、多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリースを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2025年度は、「王道!斬新!」を主催公演のテーマとし、京響ならではの独自性と魅力ある公演を展開する。2026年には創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。

鬼才スピノジが温故知新の扉をひらく!

ハイドンの「熊」とベートーヴェンの「田園」

会場: 京都コンサートホール 指揮: ジャン＝クリストフ・スピノジ

2025. 11.28 金 午後7時開演 11.29 土 午後2時30分開演

入場料	金6,000円	金5,500円	金4,500円
U30(前売)	金2,500円	金2,000円	金1,500円
金曜ペアチケット(11/28公演)	金10,000円	金9,000円	金8,000円
曲目	ロッシニ: 歌劇「アルジェのイタリヤ女」序曲 ハイドン: 交響曲 第82番 ハ長調 Hob.I-82「熊」 ベートーヴェン: 交響曲 第6番 ハ長調 op.68「田園」		



ジャン＝クリストフ・スピノジ

第706回定期演奏会

2025.9/19 金
から発売!